

総合部会

研究主題 生きる力をはぐくむ「総合的な学習の時間」の創造 ～探究的な学習を通して～

1 主題について

身に付けさせたい力を明確にし、探究的な学習を通して自己の生き方を考えるとともに主体的に生きる力を育むことを目指し、本主題を設定した。

2 今年度の取組

| 月 日 | 実践内容 | 月 日 | 実践内容 |
|--------|---|------|----------------------|
| 4月11日 | 第1回総合研究会 研究主題設定・年間計画作成 | 7月2日 | 授業等交流 (大館市立第二中学校) |
| 11月13日 | 第2回総合研究会 授業について・テーマ研究 (大館市立第一中学校) | | |

3 研究内容

(1) 授業等交流について

- ・期 日 平成25年 7月 2日(火)
- ・会 場 大館市立第二中学校
- ・単元名 「アヤマの里の防災リーダーを目指して」
- ・授業者 全教職員

① 授業者から (大館二中 高清水三奈子教諭)

平成25年11月13日(水) ・会場 大館市立第一中学校

- ・本校は地域に根ざし、様々な人とかかわり合いながら身のまわりにある課題に目を向けて解決しようとする態度を育てたいと考え、総合的な学習の時間に防災教育を行っている。
- ・本時は3学年同じ活動であったが、それぞれの学年の到達目標は違うので学年に応じて身に付けさせたい力を明確にし段階的に指導するようにしている。

② 協 議

- ・地域の人たちと一緒に考えながら、理由も添えて自分の考えを提案できていた。
- ・実際の活動に向けて呼びかけのポスターを作って地域に貼ったり、小学校にも呼びかけたりして、生徒たち自身が活動後に「やってよかった。」と思えたことが達成感につながっており、素晴らしい取組だと思う。
- ・学年間、地域と生徒、いろいろな世代の人たちとの交流のある学習であり、地域とのつながりが一層強くなる活動であると思う。3年間の学習の積み重ねで生徒たちはどのように



【地域の方と一緒に話し合い活動 (大館二中)】

変わってきているのか。(地域の方々とのコミュニケーション力が向上してきている。)

- ・地域の方々はどうか。(この活動を通して、地域の方々が学校に関心を持ち、いろいろな場面で生徒の頑張りを賞賛してくれるようになった。さらに生徒はやる気になり、一人一人の主体性が育ってきたと思う。)
- ・どの地域も3年生が先頭に立って話し合いを進めていた。生徒たち自身が生き方を考える防災教育だと思う。
- ・今年の8月9日の豪雨のボランティア活動にたくさんの二中学生が参加した。この防災教育から培われた主体性が素晴らしい。

(2) テーマ研究 (各校の年間指導計画の情報交換)

- ・小規模校では全校体制で行っている時間もあるため、1年生の時数が少ないことが教育課程編成上困難を感じる。
- ・生徒たちが自ら課題を見つけ、計画を立てて活動する内容では、「自分たちがやらなければならない。」「やりたい。」という気持ちになり自主性が育ってくる。
- ・他教科との関連を図る総合を進めている。総合で身に付けた力を教科や道徳、学校行事に発揮していきたいと考えている。また地域の方々と交流する総合を目指している。
- ・生徒たちが自作のパンフレットを作成し、修学旅行先でパンフレットを配付しながら説明する活動を取り入れている。

(3) 指導助言 (檜森 秀樹 指導主事)

- ・生徒の力のレベルアップに向けて各中学校から紹介のあった取組を情報として組み合わせ、参考にしながら総合的な学習の時間を考えてほしい。
- ・単元構想のポイントとして、小学校でどのレベルまで取り組んできたのかをしっかりと踏まえ、各学校段階間における学習活動の重複を解消し、9年間の学びを大切にしたい。
- ・育てたい力を明確にし、3学年が同じ活動をしていてもそれぞれの学年のねらいを踏まえて内容や単元を構想しなければならない。
- ・体験したことや収集した情報を、言語により分析したりまとめたりして言語活動も意図的に位置づける。
- ・高校の解説書も参考にしてほしい。小・中・高のポイントが書かれている。
- ・1年生の時数については、各学校の年間指導計画の工夫点を参考にしながら学習対象や学習事項について検討してほしい。
- ・総合的な学習の時間に各学校で特色ある名称を付けるなどして取り組んでほしい。
- ・教科書がないので教師の願いが大きく影響する時間である。年間指導計画には学年のテーマとともに教師の願いを位置付けてほしい。そして学んだ生徒が10年後、20年後どう育っているか、地元で活躍している姿をイメージして長いスパンで生徒を育ててほしい。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・生徒たちが自ら考え、計画を立てて取り組む活動では真剣な取組が見られた。
- ・総合で身に付けた力を委員会活動や学校行事に生かすなど積極的な態度が育ってきた。

(2) 課題

- ・探究的学習では「課題設定→情報収集→解決方法→表現」のスパイラルの要素を入れて生徒の自己有用感の継続を大切に、ねらいを明確にして取り組まなければならない。
- ・1年生の時数が2、3年生と違うので全校体制での活動が難しい。